



港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

2月園だより

令和5年1月27日
January 27, 2023
園長 河合 晴美
Principal
Harumi Kawai



心を通い合わせて

園長 河合 晴美

先日の正月遊びの会では、御参加いただきましてありがとうございました。保護者の皆さまが子どもたちと向き合う姿、やり方を伝えるために遊びをリードしていく姿を拝見し、何気ない日常の姿ではありますが、3学期という短い月日の中で、とても貴重なひと時であることを感じました。

幼稚園では、残りの月日を数えている5歳児さくら組が、あとを任せていく4歳児ばら組に「教える」、「伝える」ことが増えました。誕生会で担う司会の言葉をどのようにしたら伝わるのか、分かってもらえるのかを子どもたちなりに試行錯誤していました。言いたいことが言葉として出てこないジレンマも友達と言葉を重ねていくにつれ徐々に明確になり「分かった」という相手の表情で安心していく姿となりました。そのやり取りの中では、心を通わせていく姿が見られました。分かり合うために相手に対し心を寄せていくことが幼児なりに見られました。その姿が身に付くことを目指し、生活の中で大切にしてきました。

とかく、コロナ禍でコミュニケーションの仕方が問題視されています。一方的な関わりや関わることを遮断することも生じています。しかしながら、これから生きる子どもたちには、他者に対し尊重する気持ちをもち多様性を認めていくこと、対話しながら力を合わせ共に乗り越えていくことがより求められています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に示されている中に「言葉による伝え合い」があります。先生や友達と心を通わせる中で豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりしながら言葉による伝え合いを楽しむようになる姿です。そのために、関わりの中で言葉を添える大人の仲介や子どもとの対話の積み重ねを丁寧にする、絵本や物語などから言葉に対する感覚を養うようにすることも大切に行っています。

子ども達の世界が広がり、花開くことを楽しみにしながら、ふとしたときに出てくる「あのね・・・」と話す姿に心を寄せ、耳を傾けていきたいと思いま



<保護者の方にコマを手に乗せる技を見せていただきました>



<5歳児から4歳児へ 誕生会の司会の引継ぎ>

